



# ふぉーゆうだより



第16号

平成26年1月発行



日頃より格別なご高配を賜り、誠に有難く厚く御礼申し上げます。

皆様のご健勝とご多幸をお祈りするとともに、

今後もより一層のご支援ご指導の程、宜しくお願い申し上げます。 ❄️

## 発達障害セミナーを開催しました



平成25年9月7日(土)にとちぎ健康の森講堂において、発達障害セミナーを開催いたしました。今回は、「発達障害のある人へのライフステージを通じた支援～高校から大学、そして就労へ向けて～」をテーマに、信州大学教育学部教授の<sup>たかはしともね</sup>高橋知音先生をお招きし、ご講演いただきました。

当日は、当事者の方やご家族、学校や施設関係者等、201名の方が参加されました。昨年「障害者差別解消法」が公布され、過度な負担とならない形で社会的障壁を減らす「合理的配慮」の必要性が法的にも明記されたことについて、実際に行われている「合理的配慮」の例を交えながらお話しいただきました。また、同法では合理的配慮が求められるのは「障害者から現に社会的障壁の除去を必要としている旨の意思の表明があった場合」とあるため、進路や将来の自立に向けて本人の自己理解や自己決定、支援要請スキルが大切であることについてお話しいただきました。更に、支援のネットワークを途切れさせないために現在の支援者から次の支援者へ引き継ぎを行うことが大切であるというお話もありました。

参加者のアンケートからは、「合理的配慮に関する知識を得られて良かったと思いました。今後につなげていきたいと思います。(家族)」、「発達障害のある人の支援で、高校から大学への進学という視点から考えたことが今までなかったので、とても良い勉強になりました。私の職場での支援に今日のセミナーの内容を活かしていこうと思います。(就労移行支援事業所)」、「小学校では、将来を見据えた支援が必要だと改めて思いました。『失敗しないようにするだけの支援ではいけない』というお話を聞いて、本当にその通りで、今までの支援の方向性が間違っていなかったと思えました。(小学校教諭)」等の声がありました。

## 平成25年度 第2回

### 発達障害者支援センター関東ブロック連絡会 報告



平成25年度第2回発達障害者支援センター関東ブロック連絡会が、10月18日（金）～19日（土）に千葉市で開催されました。平成24年度～25年度の2年間は栃木県の発達障害者支援センターが事務局となり、企画・運営を行っています。

連絡会には、各都県市14か所の発達障害者支援センターの職員が集まり、18日には全体会として、世界自閉症啓発デー2014・シンポジウム等についての報告を行い、後半は独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構が運営している「障害者職業総合センター」を見学しました。まず、「発達障害者のワークシステム・サポートプログラム」について、職員の方から説明を受け、実際に作業をしている場所や宿舎を見せてもらいました。このサポートプログラムは、「就労セミナー」・「作業」・「個別相談」で構成されており、①障害による職業上の課題を知り、②職業情報の獲得状況に応じて就労セミナーの受講や個人相談を行い、就労に必要となる情報を獲得するとともに、③ストレス対処方法などの対処スキルを身につける取り組みをしています。一人ひとりの状況を尊重し、就職上の課題へのスキルを身につけるため、訓練期間は13週間となっています。作業は製本作業やハンダ付け作業などが行われていて、かなり高度な技術が身につけられる内容であると感じました。宿舎は、宿直の職員が必ず常駐しており、利用者の方が困ったときに相談できる体制になっている上に、日常生活の訓練も併せてできる場所でした。19日には「発達障害者の就労支援について～民間企業の取り組み」について「(株)パソナハートフル」と「(株)パソナ パソナ・千葉」の社員の方から、ご説明いただいた後、実際に就労支援を受けて就職された当事者の方からの話を聞きました。また、千葉県「障害者就労体験促進事業」は、千葉県内に在住し、企業への就労を希望する障害のある方々（身体障害を除く）に、ビジネスマナー、パソコンスキル、職場研修などを実施することで、社会人としての基礎力及び実践力を身に付けた人材を育成するものでした。その後、各センターから提出された事項について情報交換を行いました。



## 平成25年度 ふぉーゆう 事業

一部 ご紹介します！

### ●青年期発達障害者グループ活動

ふぉーゆうに来所・相談された方を対象にした小グループで、月1回の活動をしています。活動するメニューなどによって参加者数にバラツキが見られますが、各回5～6名の方が参加しています。今年は室内レクリエーション（ゲーム、カードゲームなど）を多く取り入れています。また、工場見学をしたいという参加者からの要望があり、(株)アキモ（漬物会社）を見学に行きました。参加者からは「流れ作業のやり方がわかった」等の感想がありました。今後も、青年期のグループ活動を通して、仲間づくりやいろいろな体験ができるよう、色々なメニューを考えていきたいと思っています。

## ●就労準備支援事業(高校・大学生等対象 職場見学・体験)

平成 25 年 8 月 5 日 (月)、7 日 (水) の 2 日間実施いたしました。5 日の体験場所は、昨年と同じ、小山市にあるとちぎ労働福祉事業団小山事務所 (協栄流通(株)小山物流センター内) で、CO-OP の宅配で使用される保冷剤の詰め替え、洗浄作業などを行いました。涼しい室内の作業ではありませんでしたが、保冷剤はかなり重く筋肉痛になった方もいたようです。また、7 日は昨年 4 月に開所したソーシャルファーム長岡での農作業 (トウモロコシ茎の除去、除草、収穫作業) や収穫した作物のジャム作り前分別作業を行いました。かなり暑い中でしたが、麦茶を飲みながら参加者もスタッフもがんばりました。5 日は 3 名の参加、7 日は 4 名の参加者がありました。参加者から「働くことに関心が持てた。有意義な体験ができた。」等の感想がありました。御協力いただきました事業所の皆さん、ありがとうございました。



保冷剤の洗う作業風景

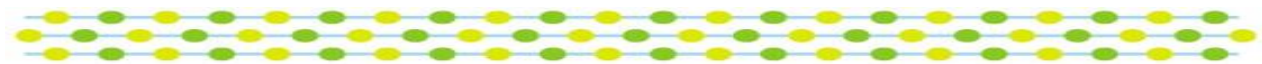


収穫作業風景

## ●ピアカウンセリング研修会(フォローアップ研修)

これまでにピアカウンセリング研修会の中級・上級を受講された方を対象に、フォローアップ研修を行いました。臨床心理士の秋場美智子氏を講師にお招きし、1 日目は「子どもの発達の経過と課題」、2 日目は「発達障害児の不適応の問題」、3 日目は「自閉症スペクトラム障害の特性と問題行動」をテーマに、グループワークを交えながら、二次障害や非行など、困難さを抱えた事例への対応を学びました。

今後も、県内でピアカウンセラーとして活躍されている皆様の、知識の再確認や情報交換の場として、有効に活用していただけるような研修を企画できるように努めていきたいと思っております。



## TOPICS

### 自閉症啓発デーの取組

平成 25 年 4 月 6 日 (土) に、東京で開催された「世界自閉症啓発デー 2013 シンポジウム」に運営スタッフとして参加しました (国連の定めた世界自閉症啓発デーは、4 月 2 日です。)

また県内では、栃木県自閉症協会の主催事業 (JR 宇都宮駅での啓発ティッシュ・リーフレット等の配布) に参加しました。

自閉症をはじめとする発達障害について、より多くの方々の理解と支援をお願いします!! 4 月 2 日～8 日は発達障害啓発週間です。

「世界自閉症啓発デー 2014 シンポジウム」は平成 26 年 3 月 29 日 (土) に東京都の灘尾ホールで「共に支え合う～みんなで作ろう、やさしい街を～」をテーマに行う予定になっております。



## LD 学会に参加してきました

平成25年10月12日(土)～10月14日(月)にパシフィコ横浜にて行われた日本LD学会に参加しました。今回の大会テーマは「多様なニーズへの挑戦～たて糸とよこ糸で織りなす新たな教育の創造～」であり、LD(学習障害)を中心に、広く発達障害に関する最新の研究や知見、今後の課題等について、さまざまな分野から報告がありました。多様なニーズへの対応として各支援現場で関心が高まっている「合理的配慮」や、DSM-5が示唆する発達障害の枠組みについては、今後、より体系的に整理されていくものと思われ、動向が気になるところです。

## 発達障害学会に出席してきました

平成25年8月24日(土)～8月25日(日)に早稲田大学で開催された発達障害学会に参加しました。発達障害学会は広義の発達障害に関する学術的な学会であり、医師や教職員、療法士等多領域の会員から構成されています。今回の学会は、『第3回アジア太平洋発達障害会議』との同時開催となりました。国際会議のメインテーマは『多様性一個別の支援と地域支援の融合を目指して』、国内大会は『発達障害に関する最新の医療・教育・福祉・労働研究2013』でした。発達障害に関する最新の研究や今後の課題等について、さまざまな分野の研究や知見が報告されるとともに、診断基準や検査法、支援方法等について紹介がありました。

## 診断基準の改訂について…

平成25年5月、アメリカ精神医学会が定めた精神医学の世界的な診断基準DSMが19年ぶりに改訂されました。改訂前、小児自閉症やアスペルガー障害などのサブカテゴリーを含む「広汎性発達障害」とよばれていたものが、DSM-5では「自閉症スペクトラム障害」というひとつの診断名に統合されました。DSMとともに世界各国で用いられている世界保健機関(WHO)のICD-10も現在改訂作業が行われています。



栃木県発達障害者支援センター いおーゆう

〒321-8503 栃木県宇都宮市駒生3337-1

(とちぎリハビリテーションセンター内)

TEL 028-623-6111 FAX 028-623-7255

メール hattatsu@rhc.pref.tochigi.lg.jp